

消防吏員用立体救急服（単価契約）仕様書

豊 中 市 消 防 局

消防吏員用立体救急服（単価契約）仕様書

1. 概要

この仕様は、豊中市における消防吏員用立体救急服（単価契約）について定める。

2. 総則

- (1) 当救急服の製作に要する費用は、当初に契約した見積額のとおりとし、追加支出は一切認めない。
- (2) 使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ（ヨリ）ムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- (3) 縫製については、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。又仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。
- (4) 製品の納入に際しては、1 着ごとにプレスした後ビニール袋により包装し、氏名、サイズが容易に確認できるようにし、名簿に基づき、所属ごとにまとめて納品すること。
- (5) 契約者は使用生地についての紡績メーカーが発行した品質並びに原反出荷引受証明書を提出すること。
- (6) 納入業者は早急に試作品を提出し、係員の検査を受けること。この時、仕様書の内容を納入者の解釈にて勝手に変更してはならない。
- (7) この仕様書に疑義を生じたときは、係員の指示を受けなければならない。
- (8) 採寸については、サイズ表による試着ゲージを提出し、各人によりサイズを決定するものとする。（ズボン股下の寸法は各人の体型に合わせて仕上げること。）
- (9) 使用素材や裁縫上の理由による不良品、またサイズ違いなどについては、契約業者において無償で修理又は交換すること。
- (10) 指定納期は厳守すること。
- (11) 同等品申請又は質疑がある場合は、質疑等申請期限までに契約検査課に申請すること。

3. 品名

- 1 消防吏員用立体 夏（長袖）救急服上衣
- 2 消防吏員用立体 夏救急服ズボン
- 3 消防吏員用立体 冬救急服上衣
- 4 消防吏員用立体 冬救急服ズボン

4. 契約期間

契約締結日から令和7年3月31日

5. 発注予定時期、予定数量及び納期

年3回 8月頃	消防吏員用立体 夏（長袖）救急服上衣	16着
	消防吏員用立体 夏救急服ズボン	16本
	消防吏員用立体 冬救急服上衣	16着
	消防吏員用立体 冬救急服ズボン	16本
納期		令和6年9月27日

9月頃 消防吏員用立体 夏（長袖）救急服上衣 19着
 消防吏員用立体 夏救急服ズボン 32本
 消防吏員用立体 冬救急服上衣 14着
 消防吏員用立体 冬救急服ズボン 14本
 納期 令和6年11月30日

1月頃 消防吏員用立体 夏（長袖）救急服上衣 10着
 消防吏員用立体 夏救急服ズボン 10本
 消防吏員用立体 冬救急服上衣 10着
 消防吏員用立体 冬救急服ズボン 10本
 納期 令和7年3月21日

6. 納品場所

豊中市消防局（豊中市岡上の町1-8-24）

7. 担当

豊中市消防局消防総務課 田中 綜一郎

TEL 06-6846-8419

FAX 06-6843-0119

メール shokeiri@city.toyonaka.osaka.jp

8. 形式

（1）上衣

立体仕様、カッター衿型肩章付・前立ファスナー式・袖口ファスナー式・左右胸ポケット雨蓋付・前ヒョク・替衿、反射布付・左袖ペンライト入れ付き

（2）下衣

立体仕様、ワンタック、両脇ポケット付き、後ダーツ、左上前ファスナー開き前カン止め、後身切り替え、ベルトループ5本付、左右後インダーツ式貼付ポケット、裾ルイス仕上げ

9. 主材料

上衣生地材料

ア 素 材 【冬用】ニッケ エコピッケ EW553
 【夏用】ニッケ エコトロピカル EW554

イ 混紡率 【冬用】ウール 15% 再生ポリエステル 84.5% 制電性繊維 0.5%
 【夏用】ウール 25% 再生ポリエステル 74.5% 制電性繊維 0.5%

ウ 色 相 c/# グレー（指定色）

エ 加 工 強撥水・防汚加工

ズボン生地材料

ア 素 材 【冬用】ニッケ エコサキソニー EW551
 【夏用】ニッケ エコトロピカル EW552

イ 混紡率 ウール 30% 再生ポリエステル 69.5 % 制電性繊維 0.5 %
ウ 色 相 c/# グレー（指定色）
エ 加 工 強撥水・防汚加工

10. 縫製条件

ア. 針 数

3cm 間で地縫いは 12 針以上、飾り縫いは 12 針以上、オーバーロックは 8 針以上とする。

イ. 穴かがり

上衣は平穴、下衣は鳩目穴小門止めとする。

ウ. ボタン付け

機械付け、又は手付けとする。

手付けは 2 本の糸を 1 個の穴に 3～4 回通し根巻きは 3 回以上とする。

エ. 裁 縫

糸調子は上下とも、ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。

縫い糸はテترون糸を使用し、糸始末は丁寧に行うこと。

オ. デザイン

立体構造のものとする。

11. 縫製要領

（1）上衣

ア. 主衿

テترون芯を入れ、衿巾は中央で 4.5cm（衿合巾 3.5cm）衿先巾 7.0cm とする。

イ. 前立て

左上前見返しと身頃見返し端にファスナーを合わせ、左上前端より 6mm 幅ステッチをかけ、更にファスナー付けのダブルステッチを下までかける。

下前端は見返しとの間にファスナーを挟み前端にコバステッチで下まで押さえる。

ファスナーはムシ見せとする。前立てのファスナー横にマジックテープを 3 ヶ所取り付け。

左上前見返し側にマジックテープ（オス）、右下前にマジックテープ（メス）を付ける。

ウ. 胸ポケット

胸ポケットは左右 2 ヶで雨ブタ付とする。雨ブタには所定のテترون芯を入れる。

雨ブタは巾中央で高さ 6.0cm（端部で高さ 4.5cm）横 14.0cm、胸ポケットは横巾 13.5cm、深さ 14.5cm、インダーツとする。雨蓋はマジック止めとする。（ループは不可）

胸ポケットの中にスマートフォン対応の内ポケットを付けること。

エ. 階級章台

下前身頃雨ブタ付根、中央上部 1.5cm 上にタテ 2.5cm ヨコ 4.0cm のマジックテープを縫い付ける。

オ. 脇

脇身頃は裾から脇下まで、脇下から袖口までを続きとし、脇下に重ね布式ベンチレーションホールを設ける。
ベンチレーションホールの上端は三つ折り始末をし、コバステッチと 6mm 幅のダブルステッチをかける。
ベンチレーションホールの下端は二つ折りでオーバーロック始末し、6mm幅ステッチをかける。
ベンチレーションホールは袖下布を上にも脇下身頃と重ね、上下を離し脇線のみで縫い合わせる。
前後身頃側に 6mm 幅のステッチをかける。

カ. 袖

2 枚袖のカフス幅 60mm 付きとする。袖口に 2 本タックを取り、長さ約 160mm のファスナーを設ける。
袖下縫いは脇線から続けてインターロック始末、又は地縫いとオーバーロック始末とする。カフス付け内側始末は、折り曲げ、カフス付け側にコバステッチと 6mm 幅のダブルステッチをかける。
袖開きは玉縁ファスナー仕様とし、袖口カフス手前まで水かきを付ける。立体を持たせる為に袖付け根後部にダーツをとる事とする。

キ. 肩章

巾は 5.0cm とし、端を袖付けの縫目に縫込みクロスステッチはしないこと肩章の先は衿付根部より 2.0cm 下がった位置とする。

ク. ペン刺し

左胸ポケット雨ブタの中心部から 3.5cm 内側に入った所に巾 3.5cm のペン差しをつけ、左ポケットにも内側より口巾 2.5cm のペンセクションを設ける。

ケ. ペンライト入れ

左袖に袖付けより 9.0 c m 下がった位置に巾 4.0 c m、長さ 15 c m のペンライト差しを縫い付ける。

コ. 背ヨーク

1 枚仕立てストレートヨークとし、後部背切り替え、前肩は肩章付け辺り位置で切り替える。
切り替え線のヨーク側に 6mm 幅のステッチをかける。
袖側にも 6mm 幅のステッチをかける。大きさは中心で約 16cm（サイズにより変動）とする。

サ. 袖エンブレム台

右肩付根より 6cm 下に消防局指定のマジック台座を縫い付ける。

シ. 片布・品質表示

所定のを上前胸ポケット裏面中央に縫付け、その下に品質表示を縫い付ける。

ス. 衿吊り・サイズネーム

衿吊りは衿ぐり後中心に挟み付け、サイズ表示は衿吊り横に挟み付ける。

セ. 裾折り返し

裾は三ツ巻き縫いとする。

ソ. 付属（替衿、肩章）

替衿は指定のブロードにて衿台中 3.5cm、衿先巾 7.5cm の替衿を作成し、シャツ本体の衿台内側に直径 10.0mm の 4 ツ穴ボリ釦を 5 ヶ所付け、替衿台衿下部にはステッチをかける。
さらに替衿が付けられる様に衿台内側の釦と間隔を合わせネムリ穴をかける。
反射布は表生地指定のトランスファーフィルムを接着し、巾 5.5cm、長さ 10.0cm の筒状の肩章反射布を作成し、本体の肩章に通しておく。（付属は 1 着につき 1 セット取り付け）

タ. 刺繍

左胸雨蓋上部マジック台座の上に、「豊中市消防局」と刺繍（薄グレー色）する。
（消防局指定色・寸法）

（２）下衣

ア. 前タック

左上前ファスナーあき、左右のウエストにワンタックをとり脇側（外向き）に片倒しをする。

イ. 前立て

左上前立てに芯を貼り、約 35mm 幅の飾りステッチで押さえ、ファスナーあき止まり位置は小丸にし、門止めをする。
見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。右下前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃にファスナーを挟みコバステッチをかける。

ウ. 脇ポケット

左右の両脇に斜め切り替えポケットを各 1 個付ける。ポケット口の長さ 160mm とし、口の上下端に門止めをする。
口には 6mm 幅のコバステッチをかける。向う布の表地端は、袋布に縫い合わせる。袋の周囲は袋縫いをする。右ポケットの
袋布に小袋を縫い付ける。

エ. 後

左右のウエストに各 1 本のダーツを取り、外側に片倒しをする。後中心の尻縫いは割縫い、裁ち目はオーバーロック始末をする。脇線と後中心の間(中心寄り)にベルト付け下より裾まで切り替え、脇側へ 6mm 幅ステッチをかける。後身を切り替えた中心側身頃の太腿辺りを斜めに切り替え下裾側へ 6mm 幅ステッチをかける。ダーツ、後身・内腿切替え部は臀部の突っ張り感を軽減させるために必要とする。

オ. 後ポケット

左右後に口幅 10mm、口の長さ 145mm の片玉縁ポケットを各 1 個付ける(玉縁作りミシン可)。ポケット周囲はコバステッチをかけ、口の両端は門止めをする。ポケット向こう布(表地)とし、袋布とはぎ合わせ、袋の周囲は袋縫いをする。左後ろポケットのみ穴かがりボタン止めとする。

カ. 腰帯

マーベルト付きとする。前両端は内側に折り曲げステッチで押さえる。ファスナー上の前中心に前カンを付ける。

キ. シック

下前の持ち出し布下へ棒シック布を縫い代端に縫い止める。

ク. 裾

裾はオーバーロックで始末しすくい縫い仕上げとする。

ケ. 脇縫い

後へ片倒しとし、6mm 幅ステッチをかけ裁ち目はオーバーロック始末とする。

コ. 内股縫い

縫い割し、裁ち目はオーバーロック始末とする。
また、股破れ防止の為特別な仕様を施す事。

サ. サイズ表示・品質表示

片布下端に挟む。

シ. 片布

左脇ポケット袋布に縫着する。

12.サイズ表（単位：cm）

部位 サイズ	着丈	胸囲	胴囲	肩幅	長袖衿丈	半袖衿丈	ネック
00号	73	100	92	44	75	47	39
0号	75	105	97	46	78	49	39
1号	77	110	102	48	81	50	40
2号	79	115	107	50	84	52	41
3号	81	120	112	52	87	54	42
4号	75	115	112	50	78	52	43
5号	77	120	117	52	81	53	45
6号	79	125	122	54	84	55	46
7号	81	130	127	56	87	56	48

<ズボン>

部位 サイズ	ウエスト	ヒップ	渡り幅	裾幅
A1	70	98	33.5	20.5
A2	73	100	33.5	20.5
A3	76	103	34.5	21
A4	79	106	34.5	21
A5	82	108	35	21.5
A6	85	111	35.5	21.5
A7	88	114	36.5	22
B00	82	110	36.5	23
B0	85	113	37	23
B1	88	116	38	23.5
B2	91	119	38	24
B3	95	122	38.5	24
B4	100	125	39	24
B5	105	128	40	25
B6	110	132	41	25

